

<市民の意識醸成に関する検討>

	これまでの取組	今後の方向性
<p>① 葬送に関する市民ニーズの把握</p>	<p><b>アンケートの実施(R元年度)</b></p> <p>・より効果的な意識醸成のため、市民が葬送について知りたいと思っていることなどを把握 ⇒「終活について重要性は理解しているが、あまり実践されていない。」「多くの高齢単身者が孤独死を不安に思っている。」ことがわかった。</p>	<p><b>より具体的なニーズの把握</b></p> <p>・葬送関連事業者等と連携した、現場でのニーズ把握(パネル展でのアンケート実施) ・インターネットアンケートの実施(意識醸成に係る成果指標等) ⇒把握したニーズを踏まえ、来年度以降の「②葬送に関する情報提供」に繋げていく。</p>
<p>② 葬送に関する情報提供</p>	<p><b>基本構想の周知(R2年度)</b></p> <p>・札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想策定後、ホームページにて周知するとともに、各区役所、各まちづくりセンター、各市営霊園等のほか、民間葬儀場や墓地等にも同基本構想の冊子配架を依頼</p>	<p><b>効果的な広報の仕方を検討</b></p> <p>・各種媒体を活用した啓発(SNS、広報さっぽろなど) ・パネル展等の開催による周知・啓発 ・キャッチコピー、ロゴマーク作成(札幌市立大学との連携) ・庁内各部署等との連携(おくやみ窓口、札幌市居住支援協議会等を活用した周知など)</p>

第2回の総会で協議

